

# ときめき人

Tokimeki bito

## 思い出に残る案内を



「お客さんが帰るとき、笑顔で手を振ってもらえるしぐさが何よりもうれしい」と顔をほころばせる代表の酒井哲雄さん。「みやぎの明治村」とよま観光案内人倶楽部は、合併前から続く住民ボランティアの観光ガイド組織を母体として登米市誕生と共に設立。地元住民を中心に現在は13人の会員が「みやぎの明治村」周辺の観光案内をしている。

酒井さんが観光ガイドを始めたのは24年前。地元に住んでいながらみやぎの明治村のことを詳しく説明できなかったことがあり、郷土のことをしっかり紹介したいとガイドを志した。「知識を伝えることだけがガイドの役目ではない。大切なのはいかに楽しんでもらえるか」と話す酒井さん。とよま観光案内人倶楽部のガイドの特徴は状況に

じた柔軟な対応。お客さんの反応を見ながら、体力や知識に応じて歩くペースや紹介する内容を変える。難しいのは幅広い年齢層の団体客を案内するとき。子どもと大人では興味が異なり、どんな話にするかの見極めがガイドの腕の見せ所となる。

「ガイドをするからにはそのとき話さないことでも知識の引き出しは多く持っていた方が良い」と話す酒井さんは、ボランティアの支えになればとガイドのためのガイドブックを作成するなど後輩の育成にも精を出す。

「おかえりモネの放送が始まり観光客が増えると思います。多くの人に地域の魅力を伝えたい」と意気込むガイドの皆さん。地域振興の一翼を担い、今日も心に残るガイドで観光客を迎えています。

## 編集後記

▼日頃から市の安全安心を守るため、活動を続ける消防団員たち。その一人一人が、大切な人を守るという意識で活動に取り組んでいます。大切な人を守りたいという一つ一つの思いが、つながり、地域や登米市を守ることにつながるのだと感じました。(三浦)

▼お知らせページを担当し、3人の職員の写真を撮影しました。今年度がスタートして、1カ月。それぞれの仕事に対する思いを感じながら良い表情を狙いました。まだまだ失敗の多い一眼レフ。さまざまな場面でベストな一枚を撮影できるように日々練習していきたいと思えます。(大立目)

▼休暇などを利用してボランティアで観光案内をしている皆さん。「雑草という名前の植物はない。どんな物にも名前があり、歴史や背景がある」とお客さんの満ちた顔を思い浮かべ日々研さんを積まれています。もう少し自分が生まれ育った町のことを知りたくくなりました。(佐々木)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

